

## 地方財政学会に参加

日本地方財政学会 第23回大会が関東学院大学金沢八景キャンパスで開催され参加した。昨年は福島大学で開催され、立命館大学の森裕之報告に対するコメントを行った。これについては昨年8月28日にレポートしている。学会翌日には、復興途上の名取市閑上の「街」を歩いた。

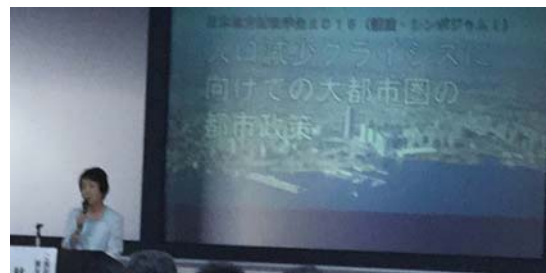
じつは今回、都合により日帰りになるので、学会に参加するか迷っていた。でも「学会離れ」にならないように、朝一番の新幹線で横浜に向かった。あいにくの雨で富士山は見えなかったが、昨年12月25日に撮った美しく輝く富士山の写真を思い起こした。新横浜から横浜に出て、京急で金沢八景に向かった。ここには「苦い思い出」がある。40数年前、横浜市立大学を受験するために、初めて新幹線に乗って来たことがある。残念ながら桜散ったが。

金沢八景駅で偶然にも森裕之さんに会った。雨が降っており、タクシーに同乗させてもらった。このところ森さんとは毎日メールをやり取りしている。大阪をめぐる状況について、生々しい話を聞き、意見交換をしてきた。学会に参加しようと考えたのも、森さんに会いたかったこともある。森さんは多忙であり、タクシーの中や分科会開始までも話ができ良かった。

分科会は企画セッション「地方財政運営の歴史的・制度的視点」に出た。3人の報告に対して、2人がコメントした。とくに興味深かったのが、小西砂千夫報告とそれに対する高端正幸さんのコメントである。地方交付税に関する小西報告には疑問を感じるどころがあり、質問しようと考えていたが、つい遠慮してしまった。

写真上は昼休みに会場の「Foresight21」最上階から横須賀方面を撮ったものである。写真下は午後の講演・シンポジウム「人口減少クライシスに向けての大都市圏の都市政策」での林文字横浜市長の挨拶である。横浜市は「特別自治市」を目指しており、翌日の大阪都構想の賛否を問う住民投票を前に興味深かった。

駆け足ながら学会に参加して、いろいろ刺激を受けることができた。これからも可能なかぎり参加していきたい。



(2015年5月22日)